

CSAJ 活動 pickup

2017年7月～2017年12月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJ 活動 pickup

2017年7月～2017年12月

2017年7月から2017年12月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。

本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動がありましたら、ぜひご参画ください。

内容

政策提言・意見交換	2
視察・海外出展	4
イベント・研修	5
ビジネスマッチング	11
情報提供セミナー・説明会	13
報告書	30
実施事業	31

政策提言・意見交換

平成 29 年 7 月 26 日 (水)

経済産業省へ税制改正に係る意見を提出

税制改正要望に係る検討項目について、CSAJ 政策委員会 下部組織の税制改正ワーキンググループ（主査：水谷学、ピー・シー・エー株式会社 代表取締役社長）で意見をとりまとめ、平成 29 年 7 月 26 日（水）に、意見を提出しました。

提出意見要旨として、セキュアなクラウドサービスの基準や税制の対象になり得るクラウドサービス製品、導入事例、クラウドサービスを利用する場合のお金の流れ、などについて情報提供を行いました。

平成 29 年 9 月 5 日 (火)

一般社団法人日本 IT 団体連盟（IT 連盟）へ税制改正要望を提出

IT 連盟が与党へ提案するための税制改正要望について加盟団体へ提案募集を行ったことを受け、CSAJ では、政策委員会および税制改正対応ワーキンググループへヒアリングを行い、とりまとめた要望を平成 29 年 9 月 5 日（火）、IT 連盟へ提出しました。

要望内容としては、データの連携・高度利活用を行い、新たな付加価値の創出を図る取組について、「機械装置」「器具備品」「ソフトウェア」に対する投資やサービスの利用を促すための付帯作業費用（環境設定・移行・支援・教育費、等）に対しての税制措置となります。（一定のセキュリティ要件を満たしているものに限る。）

平成 29 年 11 月 2 日 (木)

独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）と定例意見交換会を実施

平成 29 年 11 月 2 日（木）、山王健保会館にて、独立行政法人 情報処理推進機構との定例意見交換会を行いました。（参加：IPA10 名、CSAJ 側 10 名）

本意見交換会は、定期的に CSAJ 幹部（会長・副会長等）と IPA が情報や課題を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回 IPA からは、IT 人材育成本部の取組み（iCD、登録セキスベ、情報処理技術者試験）やソフトウェア製品の信頼性・開発力強化に向けた事業連携、脆弱性届出制度の運用状況および最近のトピックスや IPA 産業サイバーセキュリティセンタなどについて、説明がありました。CSAJ 側からは、データ適正消去実行証明協議会や software ISAC、PSQ/RISE 事業、第 4 次産業革命における人材や iCD 活用について、U-22 プログラミング・コンテストやスタートアップ支援事業について説明を行い、その後、ざっくばらんな意見交換を実施しました。

平成 29 年 11 月 24 日 (金)

中小企業庁と IT ツール提供事業者の見える化に係る意見交換会を実施

平成 29 年 11 月 24 日（金）、CSAJ 会議室にて、IT ツール提供事業者の見える化について、中小企業庁と意見交換を行いました。（中小企業庁 技術・経営革新課 4 名、CSAJ 側 7 名）

本意見交換では、開示する IT ツール提供事業者の情報について、エンドユーザーが適切な IT ツールを選択できるようにするための仕組みについて、検討を行いました。

平成 29 年 12 月 15 日 (金)

独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）訪問による意見交換会

平成 29 年 12 月 15 日（金）、JETRO にて、日本企業のアジア進出について意見交換を行いました。（JETRO 3 名、CSAJ 側 5 名）

本意見交換では、アジアビジネス研究会メンバーを中心に JETRO を訪問し、日本企業のアジア進出について「市場」として捉え、アジア各国に現地視察を検討しており、日本のソフトウェアベンダーがアジアでの製品販売を要望した場合の「受入れ、支援体制・施策の有無」「ハードル（課題）」などをヒアリングするとともに、最終的には日本企業が現地に赴きマッチングを実施していくための材料にしたいと考えていることなどについて、意見交換を実施しました。

政策提言・意見交換

平成 29 年 12 月 25 日（月）

中小企業庁と IT ツール提供事業者の見える化に係る意見交換会を実施

平成 29 年 12 月 25 日（月）、中小企業庁にて、IT ツール提供事業者の見える化について、中小企業庁と意見交換を行いました。（中小企業庁 技術・経営革新課 3 名、CSAJ 側 11 名）

本意見交換では、開示する IT ツール提供事業者の情報について、11 月の意見交換を踏まえ、エンドユーザーが適切な IT ツールを選択できるようにするための仕組みを、引き続き検討しました。

平成 29 年 12 月 28 日（木）

「個人情報の保護に関する法律施行規則の一部を改正する規則（案）」に関する意見を提出

個人情報保護委員会事務局が意見募集を行っていました「個人情報の保護に関する法律施行規則の一部を改正する規則（案）」について、CSAJ では法務・知財委員会で意見をとりまとめ、平成 29 年 12 月 28 日（木）に、意見を提出しました。

提出意見要旨として、本規則案全体について、本規則案は、同意がなくても日本からの個人データの越境移転を可能とする方法となるとともに、EU によるいわゆる十分性認定に対して、EU との双方向の個人データの越境移転を可能とする枠組みの構築にも資するものと考え規則案を評価しました。一方、個人情報の水準が同等であるとの指定がない国についても、越境移転が可能な方法があるので、その点について誤解がないよう、普及啓発をしっかりと行っていただきたいと要望しました。

視察・海外出展

平成 29 年 6 月 30 日 (金) ~7 月 3 日 (月)

2017 台日ソフト企業交流商談会

台北国際ソフトウェア展示会 (TSE) 2017 への参加

中華民国情報サービス産業協会 (CISA) との商談会および同時開催の「台北国際ソフトウェア展示会(TSE)」に竹原理事が参加しました。

商談会では、CSAJ を代表して竹原理事が挨拶をし、他にも日本情報技術取引所 (JIET) など日本の IT 産業を代表する団体が参加していました。

展示会では、今年は、台湾でも、人工知能一色となっており、人工知能と IoT を結びつけて、どのような有用なサービスを生み出すか、現在のサービスを根底から覆すような利便性、効率化を生み出すのか、世界的な競争が起こっていると感じられるような展示会でした。これ以上、速く、便利になってどうするのか、と思う人も居る中で、技術の進歩と人間の探究心を止めることは出来ない。よりよく付き合うことを考えるしかないのだろうと参加者は感じたようです。



WCIT 2017 (World Congress on IT) 視察

世界規模の IT フォーラムである WCIT 2017 (World Congress on IT) が 9 月に台湾で開催され、CSAJ から竹原理事、村瀬理事が参加しました。(併催: ASOCIO ICT Summit)

WCIT は、世界中から IT ベンダーやユーザーが集まる IT 関連では最大規模ともいえる国際会議で、今年も多くの IT ベンダーが参加・出展しました。

主 催: 世界情報サービス産業機構 (WITSA)

日 時: 2017 年 9 月 10 日 ~ 9 月 13 日

会 場: 台北世界貿易センター / 台北国際会議センター会場: 東京コンベンションホール

ベトナム「ジャパン ICT Day」視察

10 月にベトナムソフトウェア協会 (Vietnam Software Association、以下 VINASA) 主催で開催された「SMART CITY2017/JAPAN ICT DAY2017」に、CSAJ から村瀬理事が参加しました。(CSAJ 後援)

本イベントは、IT 分野におけるベトナム・日本企業の経済協力を結ぶプログラムとして毎年開催されており、今年は“Digital Transformation”をテーマに開催されました。

主 催: ベトナムソフトウェア協会 (VINASA)

日 時: 2017 年 10 月 24 日 (火) ~25 日 (水)

会 場: 台北世界貿易センター / 台北国際会議センター会場: 東京コンベンションホール

イベント・研修

平成 29 年 9 月 13 日 (水)

CSAJ 平成 29 年会員交流会 (主催: 交流委員会)

平成 29 年 9 月 13 日 (水)、恒例の「CSAJ 会員交流会」(交流委員会主催)が、東京渋谷区の「原宿 東郷記念館」で、開催されました。

今回も、開会から交流委員の村瀬正典理事に司会・進行をつとめていただき、荻原紀男会長のご挨拶と乾杯のご発声で会はスタートしました。今年は 150 名の皆様にご参加いただきました。都会の喧騒をしばし忘れ、和やかな雰囲気の中、情報交換やご挨拶、お知り合いのご紹介など活発な交流が行われました。

会の中盤では、会員企業様のご提供による豪華賞品の抽選会で大いに盛り上がりました。

最後は、田中啓一副会長による中締めで、盛況の内に終了しました。



平成 29 年 10 月 3 日 (火) ~6 日 (金)

CEATEC JAPAN 2017 開催報告

CEATEC JAPAN は、昨年から「最先端 IT ・エレクトロニクス総合展」から「CPS/IoT Exhibition」に大きく舵を切り、未来を見据えたコンセプトや新しいビジネスモデルを発信する「CPS/IoT の総合展」に生まれ変わりました。今年は昨年を大幅に超える数の出展者や登録来場者が集い、展示、コンファレンス共に、成功裏に終えることができました。

主催 3 団体 (CSAJ、JEITA、CIAJ) 特別企画による「IoT タウン 2017」が展開されました。本年の「IoT タウン 2017」は、「社会課題を解決して Society 5.0 を築く」をテーマに、さまざまな産業のフロントランナー (18 社/団体) が参画しました。

CSAJ からは豆蔵ホールディングスグループと島根県・しまねソフト研究開発センターが出展。出展内容もさることながら、5 ホールという場所の良さもあり、非常に多くの来場者がブースを訪れました。



イベント・研修

平成 29 年 11 月 18 日 (土)

第 7 回 CSAJ 会長杯親睦会 (主催：交流委員会)

平成 29 年 11 月 18 日 (土)、CSAJ 第 7 回会長杯親睦会 (交流委員会主催) が「富士屋ホテル仙石 GC」で開催されました。

当日は時折の小雨が降る中でしたが、色づき始めた紅葉の中、総勢 39 名の皆様にご参加いただきました。

はじめに、荻原会長の挨拶があり、そのあと交流委員の北原理事より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われました。その後、OUT コース、IN コースに分かれて、プレーが開始されました。

皆さま、日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。

プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第 7 回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



イベント・研修

平成 29 年 11 月 30 日 (木)

第 5 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会

(主催：総務委員会)

平成 29 年 11 月 30 日 (木)、平成 29 年度上半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第 5 回懇親会が「山王健保会館」で開催されました。

当日は、21 社 / 32 名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢 34 名の参加と盛況な懇親会になりました。

会は、荻原会長をはじめとした幹部陣の紹介から始まり、荻原会長による乾杯のご挨拶、参加企業様の紹介と各社からの 1 分スピーチなども行われ、大変和やかな雰囲気の中で、山本副会長の中締めで終了しました。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

BAE システムズ・アプライド・インテリジェンス・ジャパン株式会社
Hongo Connect & Consulting 株式会社
SAP ジャパン株式会社
SATORI 株式会社
tripla 株式会社
インヴェンティット株式会社
株式会社インターコム R&D センター
株式会社円簿インターネットサービス
キャップクラウド株式会社
税理士齋藤康之事務所株式会社
システムクエストシステムズ・デザイン株式会社
社会保険労務士法人セルズ
東京ナノファーム合同会社
株式会社日本シャルフ
株式会社ネクストスケープ
社会保険労務士法人ヒューマン・ブライム
フィデル・テクノロジーズ株式会社
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ
一般社団法人科学技術と経済の会
公益社団法人千葉県情報サービス産業協会



荻原会長のご挨拶



出席幹部紹介



懇親会場の様子



中締めの挨拶：山本副会長



自社紹介をする参加企業の方々

イベント・研修

日台ソフトウェア企業交流商談会

中華民国情報サービス産業協会（CISA）が主催する「日台ソフトウェア企業交流商談会」において、アジアビジネス研究会の竹原主査に CSAJ 代表としてご挨拶いただきました。

開催日時：平成 29 年 10 月 17 日（火）

会 場：東京コンベンションホール

参加実績：CISA 訪日企業等（15 名）、CSAJ アジアビジネス研究会 メンバー企業等（10 名）

CISA 邱 月香 理事長の挨拶、国内各団体からの挨拶にはじまり、AI による日台ビジネス展開に関する講演等のあと、日台企業のビジネスマッチング会が開催されました。

台湾 CISA/CSAJ 企業交流会（主催：アジアビジネス研究会）

中華民国情報サービス産業協会（CISA）が「2017 日台ソフトウェア企業交流商談会」のために来日され、10 月 18 日（水）に台湾企業の方々と共に CSAJ に来協されましたので、CSAJ アジアビジネス研究会メンバーとの企業交流会を以下の通り開催しました。

開催日時：平成 29 年 10 月 18 日（水）10:00~12:00

会 場：CSAJ 会議室

参加実績：CISA 訪日企業等（15 名）、CSAJ アジアビジネス研究会 メンバー企業等（10 名）

初めに、竹原 司 CSAJ アジアビジネス研究会主査より来協歓迎の挨拶があり、続いて喻 維貞 中華民国情報サービス産業協会（CISA）副秘書長より挨拶がありました。引き続き、双方の団体の概要説明があり、参加企業各社の会社概要・製品・サービス等自己紹介が行われました。その後、両国各社に対する具体的な質疑応答が活発に行われ、最後に、記念撮影およびお互いの記念品交換を行い、交流会は無事終了しました。



台湾 CISA 訪日メンバー



CSAJ 参加メンバー



イベント・研修

第4期 若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修 (主催：技術委員会)

壮行会

開催日：平成29年10月19日(木)、会場：CSAJ会議室

参加者：研修者23名、聴講者9名

概要：海外研修全体の説明が行われ、参加者各自1分間の自己紹介とプレゼンテーションを行いました。終了後には技術委員会を含む聴講者や研修参加者間の相互交流を図りました。

海外研修

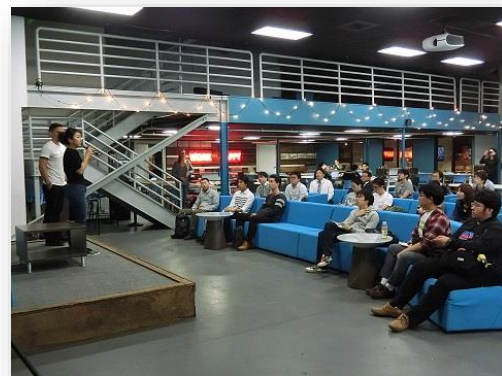
日程：平成29年10月28日(土)～11月5日(日)9日間

場所：米国ロサンゼルス Torrance

参加：24名

概要：

日程	研修
10月28日	ロサンゼルス到着 オリエンテーション
10月29日	英語グループレッスン アメリカ先進技術講義 Digital transformation & Chief Digital Officer/グーグルのAI戦略/日米におけるバリューシステムの違い
10月30日	英語グループレッスン(屋内授業1) 英語ハンズオンラーニング(屋外活動1)DEL AMO FASHION CENTER 英語グループレッスン(屋内授業2)
10月31日	企業訪問1 訪問先：FIJITSU GLOVIA INC. 企業訪問2 訪問先：Google Venies、Yahoo、YouTube Co-working Space 見学：CTRL COLLECTIVE
11月1日	アメリカ先進技術講義1 UI/UX Developer・Product Designer Jordan氏 米国でのUI/UX最新動向 アメリカ先進技術講義2 Back-end Developer/Lauren氏 米国でのバックエンド設計・開発方法 アジャイル開発の手法ハンズオンラーニング California Science Center 見学
11月2日	自由行動
11月3日	IT技術講義 NASA ジェット推進研究所 Ishimatsu氏 UCLA(University of California, Los Angeles)内 UCLA フィールドトリップ 異文化コミュニケーション/グローバルビジネス講義：元 Unisys社 Yamaguchi氏 成果報告会
11月4日	ロサンゼルス出国
11月5日	帰国



イベント・研修

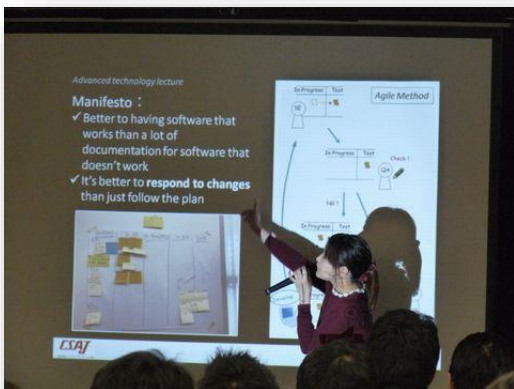
第4期 若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修 (主催：技術委員会)

プレゼンテーション報告会

開催日：2017年11月24日(金)、会場：市ヶ谷健保会館会議室

参加者：プレゼンテーション側24名、聴講側31名

概要：24名を5チームに分け、チームプレゼンテーションを実施。聴講側には技術委員会を含むマネジメント層及び第1期～第3期研修参加者が参加し、各チームのプレゼンテーションに対して評価を行いました。終了後にはプレゼンター、聴講者を含めたコミュニティを形成するための懇親会を開催しました。



ビジネスマッチング



第124回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時: 平成29年9月5日(火)、会場: トスラブ山王会議室

参加実績: 27社41名

特別講演: 島根と海外のハイブリッドで新しい時代の開発を

講演者: 椎葉育美氏 ([株式会社モンスターラボ](#) 執行役員)

プレゼンテーション1: [株式会社 HOIPOI](#)

発表製品分類: 超高速開発ツール、基幹系、周辺系業務システムの開発を超高速で行うツール、生産管理、顧客管理、ワークフローの各システムテンプレートをオプションで保持。

発表製品名: 超高速開発ツール「TALON (タロン)」

プレゼンテーション2: [株式会社日本ハイソフト](#)

発表製品分類: 化学物質のリスクアセスメント

発表製品名: Advance/Web 化学物質のリスクアセスメントシステム

プレゼンテーション3: [株式会社グラフィシア](#)

発表製品分類: サーバーPC用動画合成エンジン

発表製品名: PENCIL (ペンシル)

プレゼンテーション4: [株式会社プロビズモ](#)

発表製品分類: 小学/中学/高等学校向け 教務/学事支援システム

発表製品名: 教務/学事支援システム 「学事エース」

センターサーバー方式 Web型 「校務支援システム」



第125回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時: 平成29年11月7日(火)、会場: トスラブ山王会議室

参加実績: 21社35名

プレゼンテーション1: [株式会社テックフォースレボ](#)

発表製品分類: ビジネスホン、コールセンターのクラウドサービス

発表製品名: CloudFon

プレゼンテーション2: [株式会社豆蔵](#)

発表製品分類: 仮想データ統合ソリューション

発表製品名: Agra V シリーズ

プレゼンテーション3: [キャップクラウド株式会社](#)

発表製品分類: 入退室管理システム

発表製品名: anyplace (エニイプレイス)

プレゼンテーション4: [NJC ネットコミュニケーションズ株式会社](#)

発表製品分類: フリーアドレス導入企業向け クラウドサービス 座席抽選サービス

発表製品名: 座席抽選サービス「らくーざ」



ビジネスマッチング



第3回 CSAJ/JASPA/JIET 共催ビジネスマッチング商談会

(共催：CSAJ ビジネスマッチング研究会、JASPA、JIET)

CSAJ と全国ソフトウェア協同組合連合会 (JASPA)、日本情報技術取引所 (JIET) の3団体共催によるビジネスマッチング商談会

開催日：平成29年7月19日(水)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：商談会81名、51名

(CSAJ 商18名、懇11名、JASPA 商20名、懇14名、JIET 商43名、懇26名)



情報提供セミナー・説明会

政策

第 27 回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成 29 年 9 月 25 日（水）、会場：株式会社 BCN「22 世紀アカデミー」、
参加実績：20 社 30 名

タイトル：地域経済分析システム「RESAS」の最新情報

講演者：森 大輔 氏（内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 ビッグデータチーム チーム長代理）

講演概略：RESAS で提供する様々なデータやシステムの利用方法をはじめ、各地域・各分野での活用例や今後の取組に関して紹介。

タイトル：地域の力を引き出す RESAS データ分析事例

講演者：松浦 義昭 氏（金沢大学 国際基幹教育院 専任講師）

講演概略：RESAS の様々なデータや機能を利用して問題を特定し、原因を深堀し、打ち手の対策をまとめるまでを事例を通して紹介。

IT ツールの見える化に係る開示項目検討のための説明会（主催：CSAJ）

開催日：平成 29 年 10 月 24 日（火）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：7 社 9 名

講演者：師田 晃彦 氏（中小企業庁 経営支援部 技術・経営革新課長）

講演概略：中小企業庁で考えている IT ベンダーの「見える化」開示項目（セキュリティ認証の取得の有無、事業の継続性等）の検討概要や、優良 IT ベンダーを認定する仕組みなどについて説明。

中小企業共通 EDI 標準に係る緊急説明会（主催：CSAJ）

開催日：平成 29 年 12 月 27 日（水）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：12 社 15 名

講演者：鈴木 修 氏（特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会（ITCA） IT 経営研究所

主席研究員 IT コーディネータ 技術士（情報工学）

川内 晟宏 氏（ITCA フェロー IT コーディネータ）

村上 出 氏（ITCA 次世代企業間データ連携調査事業事務局 研究員 IT コーディネータ）

野田 和巳 氏（ITCA 次世代企業間データ連携調査事業事務局 研究員

IT コーディネータ/システム監査技術者、システムアナリスト/プロジェクトマネージャ）

講演概略：データ連携システムの共通仕様である「中小企業共通 EDI 標準（案）」について説明。

情報提供セミナー・説明会

法務・知財

第 26 回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成 29 年 9 月 8 日 (金)、会場：CASJ 会議室、参加実績：12 社 13 名

タイトル：「国際的な議論のための AI 開発ガイドライン案」について

講演者：成原 慧 氏 (総務省情報通信政策研究所 調査研究部 主任研究官)

講演概略：総務省情報通信政策研究所の主催する「AI ネットワーク社会推進会議」が 2017 年 7 月に『報告書 2017』とともに公表した「国際的な議論のための AI 開発ガイドライン案」の概要を紹介した上で、関連する今後の課題を説明。

タイトル：最近の法務知財の旬な話題について

説明者：黒住 哲理 氏、村田 和希 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

説明概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

第 27 回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成 29 年 12 月 12 日 (火)、会場：CASJ 会議室、参加実績：25 社 34 名

タイトル：民法改正がソフトウェア企業の取引に与える影響と留意点

講演者：黒住 哲理 氏、村田 和希 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

講演概略：民法改正がソフトウェア企業の取引に与える影響と留意点について説明。

タイトル：最近の法務知財の旬な話題について

説明者：黒住 哲理 氏、村田 和希 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

説明概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

情報提供セミナー・説明会

人材

第4次産業革命で求められる人材とは？セミナー（主催：人材育成研究会）

開催日：平成29年9月8日（金）、会場：CSAJ会議室、参加実績：36社47名

タイトル：IT業界で次に必要な人材とは

講演者：宇留賀 敬一氏（経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐）

講演概略：売上規模や給与体系など日米をはじめとした日本と海外の実態を数値的に比較し、今後は第4次産業革命にむけて、個人の能力向上と仕事の効率化が求められるとし、国の施策としても、経済産業大臣が認定する「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」を創設したことを説明。

タイトル：高度IT技術を活用したビジネス創造プログラムについて

講演者：講師：笹岡 賢二郎（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 専務理事

／高度IT技術を活用したビジネス創造プログラム プログラム責任者）

講演概略：今年7月に厚生労働省より受託した「高度IT技術を活用したビジネス創造プログラム」について述べ、現在社会人を対象とした教育訓練プログラムを作成・検討中であることを説明。

タイトル：ビッグデータ、AIにおけるGoogleの可能性

講演者：満岡 秀一氏（株式会社トップゲート 取締役）

講演概略：Google Cloud Platformの可能性について、既存クラウドと比較した利点や効率化、AI（深層学習）によって更なる分析・可能性があることを説明。

これからのIT人材育成について セミナー（主催：人材育成研究会）

開催日：平成29年10月11日（水）、会場：CSAJ会議室、参加実績：36社47名

タイトル：これからのIT人材育成について

講演者：藤井 彰人氏

（KDDI株式会社 ソリューション事業企画本部副本部長 クラウドサービス企

業）
講演概略：これまで何名も未踏スーパークリエイターの育成に関与した経験を踏まえ、これからの人材育成に必要なものは「何か」をテーマに講演。

「AIの話題、得意ですか？」～今さら聞けないAIについて聞いてみよう！～

（主催：人材育成研究会）

開催日：平成29年10月11日（水）、会場：CSAJ会議室、参加実績：24社32名

タイトル：AIの話題、得意ですか？

講演者：岡田 伊策氏

（富士通株式会社 デジタルフロント事業本部

（兼）サービステクノロジー本部 先端技術統括部 エグゼクティブエンジニア

（兼）東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 産業環境学分野 主席共同研究員）

講演概略：これまでの産業革命でおこった劇的な進化と、人工知能技術の戦前～現代までの移り変わり進化について説明。さらに現代の世界で開発されたAIロボットについて映像を交えて説明。

情報提供セミナー・説明会

人材

第6期 iCD 活用ワークショップ^o (主催：iCD 研究会)

第6期 iCD 活用ワークショップが以下の日程で開催されました。今期は会員企業3社、神奈川情報産業サービス協会会員1社、一般企業1社の計5社に参加いただき、毎回、課題提出という中で各社熱心に取り組んでいました。

開催日：平成29年6月29日(木) キックオフミーティング、会場：CASJ 会議室
平成29年7月8日(金)～8日(土) 第1・2回 WS、会場：幕張国際研修センター(合宿)
平成29年7月20日(木) 第3回 WS、会場：CSAJ 会議室
平成29年8月10日(木) 第4回 WS、会場：CSAJ 会議室
平成29年8月24日(木) 第5回 WS、会場：CSAJ 会議室
平成29年9月14日(木) 第6回 WS、会場：独立行政法人情報処理推進機構会議室
平成29年10月12日(木) テイクオフミーティング、会場：CSAJ 会議室

ワークショップ参加企業：

オー・エイ・エス株式会社、株式会社シー・シー・ダブル、日本ナレッジ株式会社、
サクサ株式会社、株式会社テクノプレーン

メイン講師：木田 徳彦氏 (CSAJ 理事 株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役)

サブ講師：土田 修氏 (独立行政法人情報処理推進機構)



iCD コミュニティ (主催：iCD 研究会)

今期は副主査2名のもと、iCDに関する情報提供の場として、約2か月に1回ワークショップ参加企業を中心にコミュニティを開催しました。

開催日：平成29年7月5日(水) 第1回、会場：CASJ 会議室 (参加16名)
テーマ：今年度のCSAJにおけるiCD活動、iCD活用システムの利用状況について等
平成29年8月28日(月) 第2回、会場：CSAJ 会議室 (参加18名)
テーマ：IPAセミナー参加報告、iCD活用システムの改善要望等
平成29年10月18日(水) 第3回、会場：CSAJ 会議室 (参加24名)
テーマ：iCD認証Gold☆取得企業事例紹介セミナー(1)
・株式会社オープンストリーム ・創研情報株式会社
平成29年12月6日(水) 第4回、会場：CSAJ 会議室 (参加27名)
テーマ：iCD認証Gold☆取得企業事例紹介セミナー(2)
・株式会社アイピーエル ・日本システム開発株式会社

参加企業：第1期～第6期ワークショップ参加企業

情報提供セミナー・説明会

人材

健康経営優良法人認定取得セミナー（主催：健康経営推進研究会）

開催日：平成29年7月28日（金）、会場：CSAJ会議室、参加実績：25社30名

タイトル：健康経営優良法人認定について

講演者：高田 真利絵 氏（経済産業省 商務情報政策局係長）

講演概略：健康経営の重要性とその効果から、経済産業省が進める健康経営銘柄ならびに健康経営優良法人認定制度について詳細に説明。

タイトル：取り組み事例「～働きやすい、やりがいのある会社を目指して～」

講演者：篠原 貴之 氏（SCSK株式会社 人事グループ ライフサポート推進部長）

講演概略：健康経営銘柄に3年連続で選定されている同社における健康経営への取り組みを紹介。

健康経営情報提供セミナー（主催：健康経営推進研究会）

開催日：平成29年9月20日（水）、会場：市ヶ谷健保会館、参加実績：36社58名

タイトル：日立ソリューションズの取り組み事例

講演者：金子 竜也 氏（株式会社日立ソリューションズ 人事総務本部 労政部 労政グループ 主任）

講演概略：2016年9月より実施しているワークスタイル改革運動に関して、「3本柱」を定めて推進している具体的な取り組み内容とその浸透策等について紹介。

タイトル：健康経営基礎講座 ～健康経営の始め方～

講演者：折本 敦子 グレイス 氏（有限責任監査法人トーマツ ヘルスケアアドバイザー）

講演概略：健康経営の仕組みや取り組んでいる企業の事例紹介、健康経営を進める企業が行う準備、各種データの収集、分析、課題の可視化、その企業風土にマッチした施策等について講演。

タイトル：データヘルスの取り組みと保健事業紹介

講演者：近藤 紀一 氏（関東ITソフトウェア健康保険組合 企画調整局長）

講演概略：医療費や疾病構造の変化といったデータとともに、データヘルス計画に向けた取り組みや、各種健康経営推進に向けた施策について紹介。

情報提供セミナー・説明会

国際

世界各国のクラウド市場概況 (主催：国際委員会)

開催日：平成 29 年 9 月 15 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：22 名

タイトル：中国のクラウド市場最新動向と、中国展開における日本企業の課題

講演者：家本 賢太郎 氏 (クララオンライン株式会社 代表取締役社長)

講演概略：世界最大の工場から世界最大の市場に変化した中国。中国のモバイル・クラウド関連市場や EC 市場の急速な成長が報道される中、中国市場の動向について最新情報を解説。また、6 月から施行されたサイバーセキュリティ法の動向、日本企業が中国で展開・成功するための課題を考察。

タイトル：グローバルパブリッククラウドサービスプロバイダーの視点から見た日本企業のクラウド利活用について

講演者：吉川 顕太郎 氏 (日本マイクロソフト株式会社 デジタルトランスフォーメーション事業本部
グローバルクラウドアーキテクト技術本部 本部長)

講演概略：日本市場においても「クラウドファースト」と言われて久しいが、その利活用の実態は他国のそれとは多少異なるのも事実。ベンダー選定、システム設計構築・運用管理、セキュリティ、コンプライアンスなどの観点で、ビジネスの成長のために、クラウドをより有効に活用している事例の共有なども含めて、日本企業のクラウド利活用に参考になる情報を紹介。

セキュリティ

Windows ログから読み取る RDP ブルートフォース攻撃と対策

(主催：セキュリティ委員会)

開催日：平成 29 年 11 月 15 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：19 社 19 名

講演者：板東 直樹 氏 (アップデートテクノロジー株式会社 代表取締役社長)

講演概略：実際に発生したリモートデスクトップへのブルートフォース攻撃の分析をもとに、ツールによる攻撃の再現、検知と対策のための Windows ログ、GPO の設定について解説。

情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

脆弱性が抱える技術以外の問題 -訴訟リスクの備えと連携体制の強化に向けて-

(主催：セキュリティ委員会 Software ISAC)

開催日：平成 29 年 9 月 7 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：28 社 40 名

タイトル：セキュリティと法、セキュリティ対策は誰の責任か、セキュリティ対策を怠るとどのような責任を負うか～システムのセキュリティ対策不備をめぐる最近の判例を題材として～

講演者：平野 高志 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士/パートナー)

講演概略：マスコミも政府も「セキュリティは最重要」と言うのに、セキュリティ対策を売る多くの業者は「セキュリティはもうからない」と言います。セキュリティインシデントは起こっているのに、皆「自分だけは大丈夫だろう」と理由無く信じ、お金をかけようとしません。そうした中でシステムのセキュリティ対策不備をめぐる裁判がありました。この裁判を題材にセキュリティと法、すなわち「セキュリティ対策は誰の責任か」「セキュリティ対策を怠るとどのような責任を負い、いくらくらいの損害賠償責任を負うか」についての裁判所の考え方を紹介。

タイトル：『Software ISAC 設立について』～ソフトウェアを開発・提供する企業間の連携強化～

講演者：萩原 健太 氏 (トレンドマイクロ株式会社 統合政策担当課長兼 TMSIRT チーム統括責任者)

講演概略：ソフトウェアを開発・提供する企業間連携を強化し、世間を騒がす脆弱性に対しても冷静かつ迅速に対処できる体制や、脆弱性を早期に発見できる仕組みなどを構築するために、CSAJ が「Software ISAC」を発足します。国内のソフトウェア産業界のさらなる発展のために、Software ISAC の設立趣旨や今後の展望などについて紹介。

タイトル：パネル討論会『脆弱性問題の責任は誰が果たすのか?』

講演概略：脆弱性対策が明記されないシステム契約で、インシデントが発生し、セキュリティ対策を行わなかったベンダーの重過失が認定された判例が出ました。開発ベンダーに予見できる脆弱性と予見できない脆弱性に対して、どのような対策や予防を行うことが効果的なかをパネラーとともに考察。

モデレータ：板東 直樹 氏 (アップデートテクノロジー株式会社 代表取締役社長)

パネラー：安達 大樹 氏 (株式会社 IDC フロンティア 運用本部 情報システム部)

藤田 美雄 氏 (株式会社大塚商会 社長室)

宮野 弘幸 氏 (日本事務器株式会社 執行役員 事業推進本部 副本部長)

シフトレフト:開発工程のセキュリティ対策

～アプリケーションセキュリティの実践と管理～ (主催：セキュリティ委員会 Software ISAC)

開催日：平成 29 年 12 月 8 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：10 社 13 名

タイトル：ビジネス基盤を担うソフトウェアセキュリティプロセスのシフトレフト
～実践の追い風になるコラボレーションを考える～

講演者：岡田 良太郎 氏 (OWASP(オワズブ) Japan リーダー/アスタリスク・リサーチ
エグゼクティブ・リサーチャ)

講演概略：サイバーリスクの影響により、IT サービスのセキュリティの実現が事業者にとって喫緊の課題になっています。しかし、その実践にあたっては、どうしても自社で責任をもって実践すべきものの、共有情報が追い風になるポイントがあります。本講演では、ソフトウェアセキュリティを実現するタッチポイントを概観しつつ、その実践に役立つ企業を超えたコラボレーションとは何か、OWASP の成果物活用の足がかりについて提示。

タイトル：PSIRT と CSIRT の違いとは? ～PSIRT フレームワークから学ぶ～

講演者：萩原 健太 氏 (トレンドマイクロ株式会社 統合政策担当課長 兼 TMSIRT チーム統括責任者)

講演概略：「Computer Security Incident Response Team (CSIRT)」はサイバーセキュリティ経営ガイドラインをはじめとした政府文書にも言及されるようになりましたが、製品やサービスの脆弱性やインシデント対応に必要な PSIRT は CSIRT ほどの認知や言及が行われていません。「PSIRT フレームワーク」をベースに PSIRT の概要や役割、CSIRT との違いなど、組織の製品・サービスの管理、対応体制について解説。

情報提供セミナー・説明会

技術

IT Technology のこれから –メディアが予測する次の technology とは–

(主催：技術委員会)

タイトル：『週刊 BCN』が注目するデジタルテクノロジー –短・中・長期に流行る技術を大胆予測–

開催日：平成 29 年 7 月 25 日 (火)、会場：山王健保会館、参加実績：52 名

講演者：谷畑良胤氏 (株式会社 BCN 週刊 BCN 編集委員)

講演概略：クラウド、アジャイル DevOps など、ソフトウェアの生産技術は目覚ましく進化を遂げています。これまでの当たり前とされてきた開発スタイルが、当たり前でなくなる時代がきました。ソフトウェアの開発だけでなく情報システムに欠かせないテクノロジーになってきた、AI や IoT、DeepLearning などを使って、新しいビジネスモデルを築くスタイルも、徐々に浸透してきました。今講演では、『週刊 BCN』の編集部でいま注目しているデジタルテクノロジーを列挙し、将来のビジネスにどう役立つかについて考察。

『農業と ICT』 共催シリーズセミナー第 3 回

先進ユーザ事例と農水省の最新取組 (主催：技術委員会)

開催日：平成 29 年 8 月 3 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：39 名

タイトル：ICT で農業経営の見える化に挑戦！

講演者：奥山 孝明 氏 (株式会社夢ファーム)

講演概略：土地利用型 (米麦) 農業経営を 500 筆を超える狭小・変形圃場で 2008 年度から経営開始。農研機構の「作業計画・管理支援システム」を活用し、「平成 26 年度農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」に採択され、作業管理と経理管理の一元化に取り組み、農業経営の 5 次元化に挑戦中。

タイトル：SIP「次世代農林水産業創造技術」における研究開発
–高品質・省力化を同時に達成するシステムについて–

講演者：寺島 一男 氏 (農業・食品産業技術総合研究機構)

講演概略：SIP「次世代農林水産業創造技術」のうち「生産システム」コンソーシアムでは、土地利用型農業を対象としたロボット技術や ICT の活用について研究開発をすすめています。今回はその中から衛星情報を活用した農作業の自動化、水管理の自動化、品質の維持向上に向けた空間情報や気象情報の活用技術について解説。

タイトル：農業データ連携基盤の構築、利活用の拡大について

講演者：山田 広明 氏 (農林水産省大臣官房政策課技術政策室)

講演概略：現在、官民で構築が進められている農業データ連携基盤の概要と今後の利活用の拡大に向けた方針について説明。

タイトル：農林水産・食品産業の新たな産学官連携のしくみ～「知」の集積と活用～

講演者：野田 幸太郎 氏 (農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課)

講演概略：農林水産省では、農林水産・食品分野に異分野の知識や技術を導入し、革新的な技術シーズを生み出すとともに、それらの技術シーズを商品化・事業化へと導き、我が国農林水産物の競争力強化につなげる新たな産学官連携のしくみ～「知」の集積と活用～を平成 28 年度より推進しています。この「知」の集積と活用～につままして、しくみ、関係する施策、現状等について紹介。

情報提供セミナー・説明会

技術

freeeの開発を支えるgithub～github活用事例のご紹介～（主催：技術委員会）

開催日：平成29年11月21日（火）、会場：日本事務器社、参加実績：44名

講演者：加来 純一 氏（Freee株式会社 開発人事部長）

講演概略：実際にfreeeでどのようにgithubを活用しているか、簡単なgitやgithubの紹介を含めて事例を紹介。会計freeeや人事労務freeeなどでのgithubを使ったコードレビュー、自動テストなどの開発フローや、githubと外部ツールの連携、APIを使ったデータ集計など、実際に使ってみた事例を使って紹介。

人工知能技術のサイバーセキュリティへの活用（主催：人工知能技術研究会）

開催日：平成29年7月21日（金）、会場：CSAJ会議室、参加実績：13社15名

講演者：乙部 浩一朗 氏（Cylance Japan株式会社 最高技術責任者〈CTO〉）

講演概略：最近テレビでも大きく報道されたランサムウェアなどのサイバー被害が相次ぐ昨今、従来型のサイバーセキュリティ製品ではそのアプローチに技術的な限界があった。そこでいま注目されているのが人工知能、特に機械学習の技術の活用です。既に製品化されて日本でも導入が進んでいるAIアンチウイルス製品CylancePROTECTの仕組みと特徴、人工知能技術のサイバーセキュリティへの活用における今後の可能性について紹介。

人工知能の価値創造—産総研人工知能研究センターの研究事例—

（主催：人工知能技術研究会）

開催日：平成29年9月21日（木）、会場：CSAJ会議室、参加実績：26社33名

タイトル：人工知能と価値創造

講演者：杉村 領一 氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所 情報・人間工学領域
上席イノベーションコーディネータ 人工知能研究センター 連携業務チーム チーム長）

講演概略：人工知能技術は、深層学習のブレークスルーを契機とし、IoTビッグデータの大きな波とシナジーを起こしながら、新たなビジネス創造の可能性を開いている。人工知能は、どのような新しい価値をもたらす可能性があるのだろうか、具体的な事例からその可能性を紹介。

人工知能ビジネス活用の四つの波（主催：人工知能技術研究会）

開催日：平成29年10月26日（木）、会場：CSAJ会議室、参加実績：22社26名

講演者：酒井 淳嗣 氏（日本電気株式会社
データサイエンス研究所 データマイニング・テクノロジーグループ部長）

講演概略：これまで、人工知能を活用したビジネスは、①過去や現在を整理して記述する「見える化」、②見えない情報を推定する「予測分析」、③どうすればよいかを指南する「意思決定」、と高度化が進んできました。本講演では、②と③の例として、我々が独自技術により取り組んできた「大規模予測システム」と「予測型意思決定最適化技術」を紹介するとともに、今後③の「意思決定」が世に広く普及する際に必要となる、④Win-Win機会を発見・創出する「意思調整」に関する動向を紹介。

機械学習で扱うデータの重要性（主催：人工知能技術研究会）

開催日：平成29年11月22日（水）、会場：CSAJ会議室、参加実績：28社32名

講演者：芦原 佑太 氏（株式会社クロスコンパス 研究員）

講演概略：昨今のAIブームは、驚きと、期待感を膨らませる多くの研究成果があり、AIの導入を検討する企業が非常に多くなっている。しかし、実際に導入するとなると、理想と現実と大きな乖離が生じている。本公演では、その乖離を生む要素の一つである、データの話を中心として、AIを導入する際の難しいポイントについて講演。

情報提供セミナー・説明会

技術

人工知能実装事例最前線 (主催：人工知能技術研究会)

開催日：平成 29 年 12 月 21 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：22 社 23 名

タイトル：ビジネスの現場に導入の進む FRONTEO の人工知能 KIBIT (キビット)

講演者：武田 秀樹 氏 (株式会社 FRONTEO 取締役 CTO 行動情報科学研究所 所長)

講演概略：現在、人工知能を実際のビジネスに活用する動きが活発化している。株式会社 FRONTEO は訴訟支援という新しいビジネスを進める中、テキスト解析を行い、少量の教師データでも高い精度を実現する人工知能「KIBIT (キビット)」を独自に開発し、自社のサービスとしてユーザ企業への導入を進めている。今回の講演では、産業における人工知能技術の見通しや、金融機関におけるコンプライアンスチェック、企業における離職防止など、実際のビジネス活用例を交えながら、KIBIT について紹介。

GoogleI/O・WWDC Tech Trend Catch Up

～ イベント参加エンジニアが伝える最新情報 ～ (主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 29 年 7 月 11 日 (火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：13 社 23 名

タイトル：Google I/O 2017

17 年版 Web と Android の最新情報を紹介

講演者：わかめ まさひろ 氏 <株式会社トップゲート TypeScript/GAE エキスパート>

：佐々木 将利 氏 (株式会社トップゲート エンジニア)

講演概要：WebComponents、PWA (Progressive Web App)、AMP (Accelerated Web Pages)、Android Go とは、Android O の概要、開発ツールや Play Console の進化、について説明。

タイトル：World Wide Developers Conference 2017

WWDC 2017 から読み解く iOS アプリ開発のこれから

講演者：岸川 克己 氏 (Realm Inc Software Engineer)

講演概要：WWDC 2017 Topics、State of the union 概要、Future technologies (これから注目のアプリ開発技術) の紹介。

ビジネス変革を促す API エコノミーの動向 (主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 29 年 9 月 25 日 (月)、会場：日本事務器社、参加実績：21 社 50 名

タイトル：ビジネスの現場に導入の進む FRONTEO の人工知能 KIBIT (キビット)

講演者：田中 達雄 氏 (株式会社野村総合研究所 上級研究員 IT 基盤イノベーション本部
ビジネス IT 推進部 リサーチ&ナビゲートグループ)

講演概略：API エコノミーと呼ばれる新たな潮流が注目されている。API は、あるソフトウェアから別のソフトウェアの機能を呼び出す言葉として知られるが、API エコノミーは、ビジネスから別のビジネスを呼び出す意味として使われる。今後、API エコノミーが普及することで、自社のビジネスを他社チャネルから提供したり、他社ビジネスを自社ビジネス価値と融合し、より高い価値を顧客に提供したりするビジネスイノベーションを可能にする。本セッションでは、これら API エコノミーの潮流を先進事例を通して紹介。

情報提供セミナー・説明会

技術

音声／対話型デバイスの UX 戦略 (主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 29 年 12 月 12 日 (火)、会場：市ヶ谷健保会館、参加実績：18 社 44 名

タイトル：音声／会話インタフェースの UX (ユーザー体験) の勘所

講演者：安藤 幸央 氏 (株式会社エクサ コンサルティング推進部)

講演概略：各社から音声でさまざまな情報を手に入れたり、家電を操作したりできるスマートスピーカーが登場してきました。また、車載機器やスマートフォン、家電製品でも音声コントロールは重要な要素になってきています。技術的には音声インタフェースの開発環境は整ってきていますが「体験」としての設計やデザインはまだまだ発展の途中です。これから「音声」や「会話」とりいれた音声サービス、チャットボットなどのためにどのような工夫や考え方で取り組めば良いのかを網羅的に紹介。単なる技術デモ、使ってみただけですぐに飽きてしまうといった段階から抜け出し、次世代サービスの基軸となる「音声インタフェース」を活用するためのノウハウを学び、サービス構築の勘所を学ぶものです。また、音声インタフェースのみならず、チャットボットなどの会話系のサービスにも役立てられるノウハウを紹介。

IoT システムの開発時のセキュリティを考える (主催：IoT 推進研究会)

開催日：平成 29 年 9 月 20 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：14 社 19 名

タイトル：IoT セキュリティ脅威の動向とセキュアな IoT システム開発の要点

講演者：伊藤 公祐 氏 (一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 専務理事・事務局長)

講演概略：本講演は、セキュアな IoT システムを開発するためのポイントとして、
(1)IoT セキュリティ脅威の動向、(2)検討ポイントを示す国内外の関連ガイドラインの紹介
(3)設計プロセスの中で重要となる脅威 分析後のリスク評価手法、(4)対策を打つべき脅威の優先順位の見極め方等について講演。

タイトル：新世代 M2M コンソーシアムのご紹介

講演者：鉄川 貴志 氏 (新世代 M2M コンソーシアム 理事)

講演概略：コンソーシアム概要、取り組み事例紹介

IoT に利用される各種センサーへの正しい認識 (主催：IoT 推進研究会)

開催日：平成 29 年 12 月 18 日 (月)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：18 社 22 名

タイトル：IoT セキュリティ脅威の動向とセキュアな IoT システム開発の要点

講演者：齋藤 和興 氏 (株式会社セネコム 代表取締役)

講演概略：IoT 時代と共に各種のセンサー利用が様々な分野にわたって日々拡大を続けており、特に電子回路の一部に組み込まれ、センサーへの専門知識を必要とすることなくデータ (アナログ、デジタル) を入手する事が可能となりました。これまでは収集されたデータの多くはクローズされた状況での利用でした。しかし今日ではネットワークを利用して個人から企業まであらゆる用途に利用できる方向へ加速しています。そのような中でデータの基となるセンサーはどのように取り扱われているのか、また使用されるセンサーのデータには誤差が含まれている事を認識しているか等センサーに関するあれこれや IoT 実際例を紹介。

情報提供セミナー・説明会

ビジネス拡大

ソフトウェア業界向け！2時間でわかる助成金・補助金 活用方法

～人には聞けない申請のコツ～ (主催：助成金等活用研究会)

開催日：平成29年7月26日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：31社31名

タイトル：知らないと損する！～最小のリスクで最大の効果を上げる助成金・補助金活用術～

講演者：前田 啓佑 氏 (株式会社ナビット コーポレート事業部 部長)

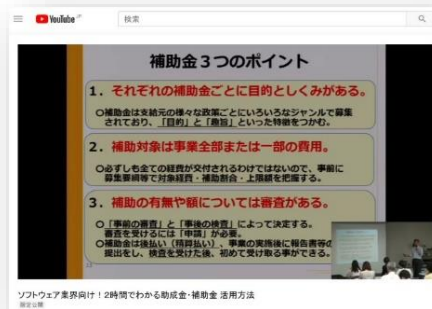
講演概略：補助金と助成金の違いの説明、おススメの助成金の紹介、助成金申請の際の疑問解決などについて解説。

タイトル：補助金採択の秘訣

説明者：澤井 泰良 氏 (株式会社グランツカンパニー 代表取締役)

説明概略：表には出てこない補助金申請の秘訣について解説。

動画配信：<https://www.youtube.com/watch?v=ICr41dRdmfs>



第1回「MAベンダー・SATORIの『B to Bマーケティング』失敗・成功・挑戦」

～旧態依然としたB to Bマーケティングを変えたい！あなたの課題はなんですか？～

(主催：BtoBマーケティング研究会)

開催日：平成29年11月16日(木)、会場：CSAJ会議室、参加実績：18社23名

タイトル：「MAベンダー・SATORIの『B to Bマーケティング』失敗・成功・挑戦」
～旧態依然としたB to Bマーケティングを変えたい！あなたの課題はなんですか？～

講演者：植山 浩介 氏 (SATORI株式会社 代表取締役社長)

講演概略：中小企業におけるマーケティングの現状と、非対面式が主流のセールス活動において匿名客から計画的に実名客(実際に商品を購入する見込みのある顧客)を創出する仕組みが求められる時代にSATORI株式会社のマーケティングがどのように移り変わっていったか、自社や主査自身の成功・失敗体験に基づき説明。



情報提供セミナー・説明会

プログラミング教育

「未来の学びコンソーシアムの取組み」と「CoderDojoの取組み」

(主催：プログラミング教育委員会)

開催日：平成29年7月27日(木)、会場：CSAJ会議室

タイトル：未来の学びコンソーシアムの取組みについて

講演者：寺西 隆行 氏 (未来の学びコンソーシアム 事務局次長)

講演概略：未来の学びコンソーシアム設立背景と取組みについて紹介。

タイトル：CoderDojoの取組みについて

講演者：安川 要平 氏 (一般社団法人 CoderDojo Japan 代表理事)

講演概略：CoderDojoと日本における展開について説明。

タイトル：企業としての学校への協力についての事例
石狩市における小中学校出前授業について

講演者：田中 邦裕 氏 (さくらインターネット株式会社 代表取締役社長)
朝倉 恵 氏 (さくらインターネット株式会社

技術本部ビジネス推進グループグループマネージャー)

講演概略：さくらインターネットで実施する出前授業の内容について紹介。

「企業×プログラミング教育の在り方について」 (主催：プログラミング教育委員会)

開催日：平成29年9月25日(月)、会場：CSAJ会議室

タイトル：企業×プログラミング教育の在り方について

講演者：利根川 裕太 氏 (特定非営利活動法人みんなのコード)

講演概略：企業・団体として教育委員会・学校へどのように関与し、サポートを行えばよいかについて講演。

「デジタル時代の学びの場づくり」 (主催：プログラミング教育委員会)

開催日：平成29年12月4日(月)、会場：CSAJ会議室

タイトル：デジタル時代の学びの場づくり

講演者：石戸 奈々子 氏

(NPO法人 CANVAS 理事長/株式会社デジタルえほん代表取締役/慶應義塾大学准教授)

講演概略：これからの社会では、「読み・書き・プログラミング」、基礎教養としてのプログラミングが大切であると
し、プログラミング「で」学ぶことの重要性について説明。また、2020年からのプログラミング必修化に
おける課題とその解決について講演。

情報提供セミナー・説明会

その他（企画）

Bangladesh IT 人材 セミナー（主催：Bangladesh大使館 後援：CSAJ）

Bangladeshにおいては、AI・IoT・BigDataの技術者を志す若者が多数存在し、海外で働くことを目標に研鑽を積んでおり、高度IT人材を輩出する背景から、日本企業で働くBangladesh IT人材の優秀さ、そして先進的に採用を進める日本企業の取組みと実際に採用するための就職説明会開催情報をセミナーとして実施。

開催日：平成29年8月22日（火）、会場：ジェトロ本部5階 ABCD 会議室

挨拶：Bangladesh大使

タイトル：Bangladesh概況とデジタル・Bangladeshの進展

講演者：JETRO

タイトル：Bangladesh IT人材の強みとIT立国イ温度との比較概況

講演者：イスラム エッサンウル氏（クアルコム シーディーエムエー テクノロジーズ
シニアディレクターエンジニアリング）

タイトル：グローバル採用戦略全般におけるBangladeshの位置づけ

講演者：矢下 茂雄氏（株式会社ワークスアプリケーションズ

リクルーティング Div. シニアヴァイスプレジデント）

タイトル：Bangladesh人社員が思う入社前後、採用担当者が語るBangladesh人材採用強化

講演者：清水 英行氏（株式会社ワークスアプリケーションズ リクルーティング Div.）

タイトル：Bangladeshにおける日本企業合同就職説明会開催案内

講演者：株式会社リンクスタッフ

インド IT 人材の現状と日本企業での採用について セミナー（主催：アジア IT 人材定着支援協議会）

7月にインドへ専門家派遣を実施した結果をもとに、インド IT 人材の現状と日本企業で今後採用するための課題を検討するためのセミナーを実施。

開催日：平成29年9月1日（金）、会場：CSAJ 会議室、

参加実績：22社29名+メンバー・講師9名 計38名

タイトル：成長戦略における外国人材の活用について - Open for Professionals -

講演者：嶋村 英治氏（経済産業省貿易経済協力局 技術・人材協力課 企画官）

講演概要：外国人材の活用が求められる背景や外国人の採用メリットから、関係省庁・機関の施策、経済産業省が開設した情報ポータルサイト「Open for Professionals」など詳細を説明。

タイトル：インド IT 人材の現状と採用について

講演者：原 洋一（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 理事・事務局長）

講演概要：専門家派遣で得た現地の日本語教育事情や、10以上の大学ヒアリング結果を踏まえ、インド IT 人材採用においてすべきことを説明。

タイトル：インド IT 人材調査における各専門家の考察

講演者：7月実施の調査による専門家各氏

講演概要：さまざまな専門家の見地で、今回の調査からうかがえるインド IT 人材採用のポイントを解説。

中小企業のための海外展開セミナー（主催：日本政策金融公庫）

インド等海外の IT 人材採用を検討しているあるいは、オフショア開発、グローバル展開を検討している方を対象に、インド IT 人材の現状を報告。

開催日：平成29年9月21日（木）、会場：日本政策金融公庫 502 会議室

タイトル：インド IT 人材の現状と採用について

講演者：原 洋一（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 理事・事務局長）

タイトル：グローバル企業の課題と展望

講演者：五十木 正氏（株式会社ワークスアプリケーションズ エグゼクティブフェロー）

ニュースリリース

平成 29 年 8 月 1 日 (火)

CEATEC JAPAN 2017 8 月 1 日 (火) より、公式 Web サイトにて入場事前登録/コンファレンス聴講予約を開始

一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会の3団体で構成するCEATEC JAPAN 実施協議会は、2017年10月3日(火)から10月6日(金)までの4日間の会期にて、幕張メッセ(千葉市美浜区)で開催する『CEATEC JAPAN 2017』について、本日8月1日より公式 Web サイトにて入場事前登録およびコンファレンス聴講予約を開始したことを発表しました。

CEATEC JAPAN は、2016 年、脱・家電見本市を宣言し、社会を変えていく原動力である IoT をメインテーマにした、CPS/IoT 総合展へのシフトを断行しました。2017 年は、「日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信する Society 5.0 の展示会」として、業界の垣根を超え、政策・産業・技術を連携して、IoT・ロボット・人工知能(AI)を活用した「つながる社会、共創する未来」を描き、披露・発信する総合展示会を目指します。

平成 29 年 8 月 1 日 (火)

三井住友フィナンシャルグループ、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、バンダイナムコグループ、タカラトミー、JTB、LIXIL など、18 社/団体の参画が決定！

CEATEC JAPAN 2017 主催者特別企画「IoT タウン 2017」、今年は「Society 5.0 のフロントランナー」による社会課題の解決をテーマに展開

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)、一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)、一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) の CEATEC JAPAN 主催 3 団体は、本年 10 月 3 日(火)から 10 月 6 日(金)の会期で開催される「CEATEC JAPAN 2017」(会場：千葉市・幕張メッセ)において、主催者特別企画「IoT タウン 2017」を展開します。本日時点で、CEATEC JAPAN 初参加の 6 社/団体を含み、18 社/団体の参画(共同展開含む)が決定しました。

平成 29 年 9 月 11 日 (月)

「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」 歴代最多の応募件数！

事前審査結果を発表、40 作品が一次審査へ！！

「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、U-22 プログラミング・コンテスト 2017 における歴代最多の応募 334 作品の中から事前審査を通過した 40 作品を発表しました。

今年で 38 回目の開催となる本プログラミング・コンテストにおいて、歴代最多の応募件数だった昨年(252 作品(参加者総数 770 名))を大幅に上回る 334 作品(参加者総数 1,236 名)の応募がありました。今回事前審査で選ばれた 40 作品の中から、今後行われる一次審査会で 16 作品程度まで絞り込まれた後、10 月 1 日に開催される最終審査会にて各賞が決まります。

平成 29 年 9 月 19 日 (火)

「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」

一次審査通過 16 作品と小学生部門結果を発表

「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、U-22 プログラミング・コンテスト 2017 の一次審査を行った結果、最終審査会へ進む 16 作品、及び小学生部門 CSAJ 賞受賞 13 作品を発表しました。

応募 334 作品のうち、事前審査、一次審査を経た 16 作品の入選が決まりました。今回は中学生から大学生まで、幅広い年齢層の作品が選ばれています。10 月 1 日(日)、東京・秋葉原コンベンションホールで開催される最終審査会で作者自らがプレゼンテーションを行い、経済産業大臣賞などの各賞が決まります。なお、最終審査会は一般聴講が可能ですが、ニコニコ生放送で公式配信される予定です。

また、今年初めて設けた小学生部門には、56 作品の応募があり、13 作品を CSAJ 賞として選びました。CSAJ 受賞者は最終審査会に招待する予定です。

ニュースリリース

平成 29 年 9 月 21 日 (木)

CSAJ と一般社団法人 Fintech 協会

金融機関との API の利用に関する契約ひな形案を策定

CSAJ は、一般社団法人 Fintech 協会（東京都港区南青山、代表理事：丸山 弘毅 / 工藤 博樹）と協働で、API を利用する各社の意見を集約し、金融機関とソフトウェアベンダが API の利用に関する契約を締結するときに用いる契約ひな形案（以下「本ひな形案」という）をとりまとめました。

本ひな形案は、技術革新により金融機関とソフトウェアベンダの API 連携による様々なサービスの創造が期待される中で、個別の金融機関と個別のソフトウェアベンダ間での N 対 N の膨大な数の契約交渉に費やされる時間を短縮し、オープンイノベーションを推進し、エンドユーザーの利便性を高めることを目的としています。

本ひな形案は、Fintech 協会 API セキュリティ分科会が主にベンチャー会員の視点から検討を進めていた契約ひな形案をベースに、CSAJ 政策委員会 下部組織の FinTech ワーキンググループ（主査：岡本浩一郎、弥生株式会社 代表取締役社長）において API を利用するソフトウェアベンダ視点での追加検討を行い、両団体の意見を踏まえて、金融機関、ソフトウェアベンダ、エンドユーザーの役割、責任などを鑑み、とりまとめました。

CSAJ と Fintech 協会では、今後、金融機関と本ひな形案の内容について意見交換を行い、金融機関の意見を踏まえた第 2 版を策定することを予定しており、この過程を経て金融機関とソフトウェアベンダの双方にとって使いやすい契約ひな形を確立することによって、オープンイノベーションを推進して参ります。

ひな形案のポイント

- ・一般社団法人全国銀行協会の「オープン API のあり方に関する検討会報告書」を踏まえ、金融機関とソフトウェアベンダ双方にとってフェアな契約を目指したもの。
- ・本ひな形案については、まず金融機関と口座情報サービス提供者（AISP）との間での参照系 API に関する契約を想定。
- ・金融機関と決済指図伝達サービス提供者（PISP）との契約の場合は、本ひな形案に対する追加覚書を締結することにより対応を想定。
- ・本ひな形案はあくまでも議論を円滑にすることを目指しており、個別事情にあわせた修正を否定するものではない。

平成 29 年 10 月 2 日 (月)

【速報】 U-22 プログラミング・コンテスト 2017、最終審査会で各賞決定！！

U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）は、平成 29 年 10 月 1 日秋葉原コンベンションホールで行われた最終審査会にて、入選作品 16 作品についての各賞受賞を決定しました。

平成 29 年 11 月 9 日 (木)

「CSAJ Startup Demo Day 3rd」開催のご案内

「CSAJ スタートアップ支援事業」では、国内ソフトウェア業界において成功した起業家・創業者が所属する CSAJ の強みを活かし、シリコンバレーのような「起業家が起業家を育てる」好循環を日本に創り出すとともに、世界を変える革新的なソフトウェアを生み出すことを目的に、2015 年 6 月 15 日より実施している事業です。

本事業の開始とともに、これまで 42 社の応募があり、今後の成長が見込まれる企業 20 社を支援先として決定しました。今回は、その中で、2017 年に支援を開始した 6 社の製品・サービスを「CSAJ Startup Demo Day 3rd」にて発表いたします。

ニュースリリース

平成 29 年 12 月 14 日 (木)

「U-22 プログラミング・コンテスト」2018 年継続開催決定

スポンサー募集開始

「38 年の歴史を持つプログラミングコンテストを主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、来年度も「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」として開催することを決定しました。

お陰様をもちまして、2017 年のコンテストでは、小学生から大学生まで幅広い年齢層から、過去最多となる 334 件の応募（参加者総数 1,236 名／昨年対比 1.6 倍）があり、10 月に秋葉原コンベンションホールで開催された最終審査会で、16 作品が経済産業大臣賞をはじめとした各賞を受賞し、成功裏に終了いたしました。

このたび来年度の開催決定をお知らせすると共に、協賛スポンサー企業の募集も開始しました（募集締切：2018 年 1 月末）。協賛スポンサー企業には、ランクに応じて実行委員会・審査委員会・懇親会へ参加できる権利など多数の特典があります。

平成 29 年 12 月 19 日 (火)

プログラミング教育委員会「情報教育に関するアンケート」結果を公表

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）プログラミング教育委員会（委員長：田中 邦裕／さくらインターネット株式会社 代表取締役社長）は、2020 年に始まる初等教育におけるプログラミング教育必修化に向け、学校現場の教職員が日ごろどの程度 ICT 機器を利用し、どういった課題を抱えているのかを調査すべく、教職員を対象とした「情報教育に関するアンケート」を実施、結果を公表しました。

回答結果によると、現場教職員が考えるプログラミング教育普及のための最大の課題として、ICT 機器やネットワーク環境の不足が挙げられ、次いで県・市・教育委員会による支援、学習・研修時間の不足などが続きました。

報告書

インド IT 人材採用調査事業専門家派遣実施報告書』を公開

CSAJ およびアジア等 IT 人材定着支援協議会では、政府における「高度外国人材の受け入れ促進」の一環として、2017 年 7 月 2 日（日）～10 日（日）の日程で各分野の専門家をインドに派遣、現地企業や大学への視察を実施しました。

インドには、インド工科大学（IIT）をはじめとする優秀な大学から大手 IT 企業へ、超高度な IT 人材を輩出する土壌がありますが、現地の大学が日本企業をどのように捉えているのか、日本企業が優秀な IT 人材を獲得するためにどのような施策が考えられるのか、また、どういった課題があるのか、といったことを現地 12 の大学と関連機関・組織・企業のヒアリング結果とともに、各分野の専門家による所感と提言を報告書としてまとめました。

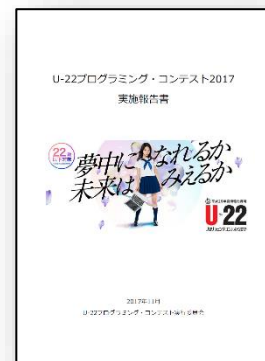
IoT、ビッグデータ、人工知能（AI）等の技術革新による「第 4 次産業革命」を推進するうえで必要となる高度 IT 人材の採用を、グローバルな視野で検討する上で参考としていただければ幸いです。

1. 派遣メンバー
2. スケジュール
3. 訪問先マップ
4. はじめに
5. 視察等報告
 - 現地関連団体・組織訪問
 - 現地大学訪問・ヒアリング結果一覧
6. 派遣メンバーの考察
7. 総括



U-22 プログラミング・コンテスト 2017 実施報告書 (会員限定)

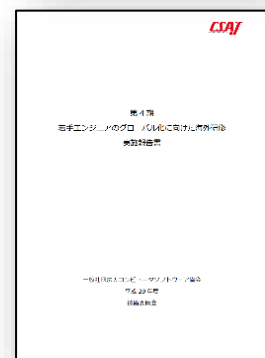
2017 は「夢を動かせ。自由な創造力で未来をつかめ！」をテーマに、10 月 1 日（日）秋葉原コンベンションホールにて最終審査会を実施、各賞を決定しました。昨年対比 1.6 倍となる参加者総数 1,236 名の応募から最終審査会では 16 作品を選出、ニコニコ生放送でも 30,000 名以上の方に視聴いただき、盛況の中終了しました。



平成 29 年度 第 4 期 若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修 終了報告

平成 29 年 10 月 28 日（土）～11 月 5 日（日）米国ロサンゼルスにて、第 4 期「若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修」が実施されました。研修終了後には参加者によるプレゼンテーション報告会平成 29 年 11 月 24 日（金）において、チームプレゼン行われました。（参加 24 名）

研究内容に関して実施報告書を取りまとめましたので、併せてご参照ください。



実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (平成 29 年 4 月～12 月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、平成 29 年 4 月から 12 月に計 9 回の委員会を開催し、付与適格決定 88 社（更新 54 社、新規 33 社、合併 1 社）、個人情報事故措置 23 件を決定致しました。

2. 平成 29 年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (平成 29 年 4 月～12 月)

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会 数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退 /退会/ 審査機関 変更	P マーク 実質増減数
平成 28 年度実績	68 社	34 社	102 社	-	52 社	4 社	18 社	20 社
平成 29 年度経過	46 社	83 社	129 社	126.5%	55 社	0 社	17 社	30 社

※実績は、審査中を含む。

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<http://www.csaj.jp/activity/project/pmark/index.htm>



実施事業

U-22プログラミング・コンテスト 2017

U-22プログラミング・コンテストは、優れた才能を持ったイノベティブなIT人材の発掘と育成を目的に、1980年から経済産業省主催で開催されてきました。2014年に民間へ移行し、現在は、日本からイノベーションを創出するIT業界のスター、世界でも活躍していくような若者を見つけ、応援したい、そんな思いに賛同いただいた、民間のIT・ソフトウェア業を中心としたスポンサー企業が、日本の未来を創る若者を応援・支援し、開催を継続しています。

「U-22プログラミング・コンテスト2017」においては、4月1日に応募要領を公開し、7月1日から8月24日までの期間、応募を受け付けました。

全応募作品数は歴代最多の334作品（参加者総数1,236名）となり、その中から事前審査、一次審査を経て入選16作品を決定し、10月1日（日）の最終審査会で各賞が決定しました。

○応募結果

応募作品数	334	学校区分		ジャンル	
個人	89	小学生	6	AI	7
団体	245	中学生	11	IoT	7
応募方法		高校生	53	セキュリティ	2
ステージ	244	高専生	13	プログラミング言語	3
郵送	87	専門学校生	219	セキュリティ	80
その他	3	大学生	32	学習&教育	28
				コミュニケーション	21
				ゲーム	176
				その他	10

経済産業大臣賞	作品名	制作者名	ジャンル
総合	Draw Near	OMNISCIENCE	ゲーム
プロダクト	Circuitor	固有スキルせんたく板	学習・教育
テクノロジー	scopion	小川 広水	プログラミング言語
アイデア	narratica	菅野 楓	AI

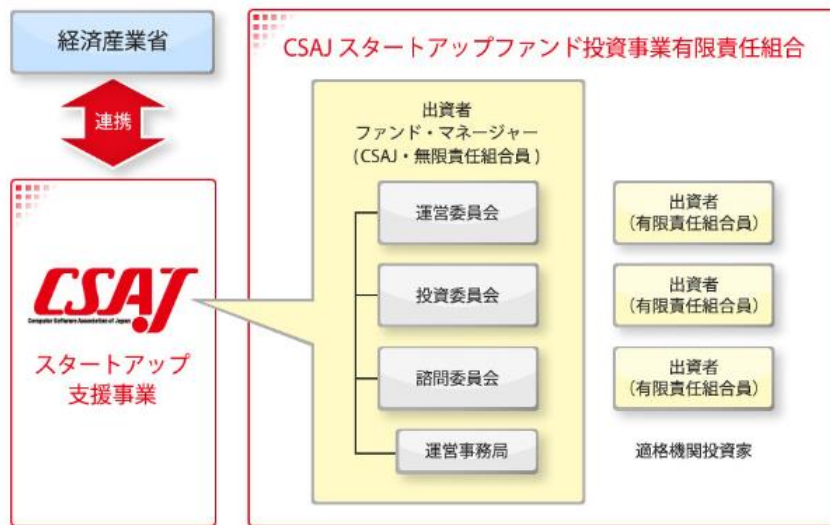


実施事業

CSAJ スタートアップ支援事業

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つ CSAJ の特色を生かし、今後、排出される有能な IT 関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJ スタートアップ支援事業」を平成 27 年度よりスタートしました。

また、CSAJ が受託した経済産業省の平成 26 年度補正予算事業「先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業（IT ベンチャーのスタートアップ促進事業）」とも連携し、新たに設置された運営委員会（委員長：和田 成史 株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長）を中心に実施してまいります。



支援先企業 18 社
(2017 年 12 月時点)



実施事業

CSAJ スタートアップ支援事業

中間発表会（CEATEC JAPAN 2017）

平成 29 年 10 月 4 日（火）、CSAJ スタートアップ支援事業において、CEATEC JAPAN 2017 の開催にあわせて中間発表会が、幕張メッセ（千葉）にて開催されました。

開催日：平成 29 年 10 月 4 日（火）15:30-17:00

会場：幕張メッセ国際会議場

はじめに、CSAJ 笹岡専務理事よりスタートアップ支援事業の概要について説明が行われました。

続いて、2017 年に支援を開始したスタートアップ企業 5 社から、製品概要について説明が行われました。

■発表したスタートアップ企業 5 社

- ・ ウェルネスデータ株式会社
- ・ 株式会社トレイル
- ・ エブリセンスジャパン株式会社
- ・ キャップクラウド株式会社
- ・ 株式会社テックフォースレボ



事業説明：CSAJ 笹岡専務理事



聴講者の皆様

CSAJ Startup Demo Day 3rd

平成 29 年 12 月 7 日（木）、CSAJ スタートアップ支援事業において「CSAJ Startup Demo Day 3rd」が、東京ミッドタウン ホール&カンファレンスで開催されました。

開催日：平成 29 年 12 月 7 日（木）13:30-19:00

会場：東京ミッドタウン タワー4F カンファレンス Room

はじめに、CSAJ スタートアップ支援事業投資委員会委員長の荻原紀男 CSAJ 会長より、ご自身の体験を交えた開会挨拶があり、基調講演では、経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課企画官 大西啓仁様をお招きし、IT 産業の課題と政策展開について、スタートアップ支援事業への期待等についてご講演いただきました。

その後、CSAJ 笹岡専務理事からの CSAJ スタートアップ支援事業の概略に関する説明に続き、CSAJ ファンドの好事例として tripla 株式会社 代表取締役 CEO 高橋 和久 氏からご講演をいただきました。

そして、スタートアップ企業 6 社がプレゼンテーションを実施、質疑応答も時間いっぱいまで繰り広げられました。

発表終了後は、懇親会場に用意したデモブースで、参加各社が思い思いのブースでデモを確認し、様々な質問や、時には厳しいご意見等により、スタートアップ企業の将来性を見定めていました。

また 2016 年より支援している 5 社もデモコーナーに出展しました。



実施事業

高齢者雇用推進事業

CSAJ 高齢者雇用推進セミナー（於：静岡県袋井市）

第4次産業革命時代におけるIT技術者育成を担う高齢者の役割とは？

～CSAJ 高齢者雇用推進ガイドラインの活用事例紹介～

（主催：人材育成研究会・働き方改革研究会）

平成29年10月27日（金）、「第4次産業革命時代におけるIT技術者育成を担う高齢者の役割とは？」と題した高齢者雇用推進セミナー（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）「働き方改革研究会」「人材育成研究会」共催）が静岡県袋井市様のご協力のもと開催されました。

開催にあたっては、当協会の行政会員である「袋井市様」の多大なるご協力のもと、そして袋井市様とふくろい生涯現役促進連携協議会様が共催となり、さらには、袋井商工会議所様、浅羽町商工会様にご後援をいただき、20社・団体/41名の皆様にご参加いただき、無事に終了することができました。



日時：平成29年10月27日（金）14:00～17:30

会場：袋井市総合センター4階会議室

共催：袋井市（静岡県）、ふくろい生涯現役促進連携協議会

後援：袋井商工会議所、浅羽町商工会



プログラム：

挨拶 主 催：CSAJ 働き方改革研究会 主査 中村 憲司/人材育成研究会 主査 富田 伸一郎

受託元：JEED 雇用推進・研究部 産業別雇用推進課長 松田 忍 氏

共 催：袋井市長 原田 英之 氏

講演1 生涯現役促進地域連携事業「ふくろいTaskAru ネットワーク」の取り組みについて
ふくろい生涯現役促進連携協議会事務局長（袋井市産業環境部産業政策課長）村田 雅俊 氏

講演2 機構の支援制度について
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）静岡支部

講演3 「コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン」について
国士舘大学 政経学部経済学科 教授 梅澤 隆 氏（元：CSAJ 高齢者雇用推進委員会 委員長）

事例紹介 CSAJ 高齢者雇用推進ガイドライン活用事例紹介
・株式会社インテリジェントウェイブ 特別顧問 山本 祥之 氏
・株式会社フォーラムエイト東京本社 システム開発グループ主事 佐藤 隆一 氏

パネルディスカッション

モデレータ：富田 伸一郎 氏（人材育成研究会主査）

パネラー：中村 憲司 氏（働き方改革研究会主査）

梅澤 隆 氏（国士舘大学 教授）

山本 祥之 氏（株式会社インテリジェントウェイブ）

佐藤 隆一 氏（株式会社フォーラムエイト）



※当日は、登壇者の皆様のご了解をいただき、LIVE 配信を試みました。

セミナー終了後も継続して、以下の Web にて公開しておりますので、ご興味をお持ちの方は、ぜひご覧ください。

http://www.csaj.jp/NEWS/activity/kourei/171027_seminar.html



実施事業

PSQ 認証制度事業

1. 平成 29 年度 PSQ 認証製品（更新含む）実施状況（平成 29 年 7 月～12 月）

PSQ 認証制度では以下を認証（更新含む）しました。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
PSQ-Q2015004-2	ウイングアーク 1st 株式会社	Dr.Sum	Ver.5.0	平成 29 年 9 月 26 日

2. 評価機関新規募集説明会（IT 検証産業協会共催）

日時：平成 29 年 11 月 28 日（火）、日本ナレッジ社会議室

概要：PSQ 認証制度において、認証業務と評価業務を独立化する制度変更を行い、評価機関の独立性を担保した仕組みにした。これを受けて評価機関の新規募集を IT 検証産業協会（略称：IVIA）と共催し説明会を開催しました。主に IVIA に所属する企業 11 社を対象に PSQ 認証制度の評価業務について、その作業とポイント、運用フローなどを含めて説明をしました。結果、承認 1 社、継続検討 3 社の状況となりました。

3. ソフトウェア品質向上研究会の実施状況（平成 29 年 7 月～12 月）

第 3 回研究会

日時：2017 年 8 月 9 日（水）、CSAJ 会議室

概略：SQuaRE（ISO/IEC25000）シリーズの理解（ソフトウェア品質特性の理解）
－ソフトウェア品質状況の検討（振り返り）
－対象ソフトウェア製品の選定
－求められるソフトウェア品質の検討（振り返り）

第 4 回研究会

日時：2017 年 10 月 17 日（火）、CSAJ 会議室

概略：SQuaRE ベースのソフトウェア品質状況マップ作成 1
－求められるソフトウェア品質とその現状
SQuaRE シリーズ（ソフトウェア品質特性）への対応づけ

第 5 回研究会

日時：2017 年 11 月 20 日（月）、CSAJ 会議室

概略：SQuaRE ベースのソフトウェア品質状況マップ作成 2
－求められるソフトウェア品質とその現状
QuaRE シリーズ（ソフトウェア品質特性）への対応づけ

第 6 回研究会

日時：2017 年 12 月 20 日（水）、CSAJ 会議室

概略：SQuaRE ベースのソフトウェア品質状況マップ作成 3
－求められるソフトウェア品質とその現状
SQuaRE シリーズ（ソフトウェア品質特性）への対応づけ
ソフトウェア品質に関する各社課題解決フェーズ 1
－品質状況マップの分析各社の固有課題の抽出

ソフトウェアで世界に挑む。
そんな「スタートアップ企業」を
募集します。

起業・創業成功者が創業者の視点で
新たなスタートアップをサポート！




CSAJ スタートアップ支援事業 2018年スタートアップ企業の一次募集は4月より開始

ソフトウェア産業の発展を目的に設立されて30年、ソフトウェア分野での起業経験者・成功者が多数在席する一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）が、「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業に対して手厚い支援を提供します。起業を考えている、または、起業後に次のステップを踏み出したいベンチャー創業者は、奮ってご応募ください。

募集期間	一次募集 2018年04月01日～2018年07月31日 二次募集 2018年10月01日～2019年01月31日
応募要件	地 域：日本国内に本店を置いて事業を行う企業またはチームであること。 業 種：ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップ企業またはチームであること。 事業内容：ソフトウェアを中核とする事業であること。 規 模：原則として小規模であること。
全体の流れ	募集から採択、投資開始、教育（支援プログラム）、発表、EXIT等までの流れ
CSAJ ファンドからの出資	1. シード期の初期投資：300～1,000万円を想定（取得株式：5～10%を想定） 2. 成長の期待できる企業への追加投資：1,000～5,000万円を想定（取得株式比率は相談）
エントリー	エントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局までメールでご送付ください。
お問合せ先	CSAJ 担当：井上、中野 E-mail：startup-info@csaj.jp TEL：03-6435-5702 〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4階

CSAJ 活動 pickup | 2018/02/01

詳細はスタートアップ公式サイト（ <http://www.csajstartup.com/>  ）をご覧ください

U-22 プログラミング・コンテスト



U-22 プログラミング・コンテスト 2018 スポンサー企業、応援団大募集！

U-22 プログラミング・コンテスト 2017 は、過去最多となる 334 件の応募（参加者総数 1,236 名／昨年対比 1.6 倍）の中で、16 作品が入賞しました。

2016 年に引き続きニコニコ生放送を配信、30,000 を超える視聴数を獲得し、大変盛況な中終了しました。

そして…39 回目の開催となる 2018 年もコンテストを開催いたします！

「第 4 次産業革命」とも言われるこの現代では、すべての産業でプログラミングが必要とされ、あらゆるサービスがプログラミングによって進化しています。そのような世界では、新しいものを生み出し、活用する、これまでとは異なる人材が求められています。

当コンテストは、日本の未来を担う若者たちを応援し、光をあて、さらには将来的な IT 人材不足を補うため、国内の IT 人材を発掘・育成を目指しています。

協賛各社にとっても、優秀な人材の確保、企業名の認知度向上、企業イメージや好感度の向上、社会貢献（次世代の人材育成）などさまざまなメリットがあります。また、協賛いただくランクに応じて、実行委員会・審査会・懇親会へ参加するなどの複数の特典もございます。

当コンテストを通じて、日本の若者を一緒にサポートしていただく企業様を広く募集しています。

▼参考：2017 年の様子

[U-22 プログラミング・コンテスト 2017 公式 Web サイト](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2017 最終審査会 \(Movie\)](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2017 実施報告書 \(会員限定\)](#)

※会員限定ファイルは閲覧に会員共通ユーザ名、パスワードが必要です。



公式 Web サイト

【スポンサー一覧】

内容／ランク	プラチナ 300 万円	ゴールド 200 万円	シルバー 100 万円	ブロンズ 50 万円	応援団(小口) 5 万円
1. 実行委員会への参加	○	○	—	—	—
2. 審査委員会への参加	○	○	—	—	—
3. 企業賞の実施	○	○	—	—	—
4. 最終審査会 CM 枠提供	○	○	—	—	—
5. 表彰式・懇親会参加	3 名まで	2 名まで	2 名まで	1 名まで	—
6. パンプ・ノベルティ等の配布 ※最終審査会	○	○	○	○	○
7. 制作物への社名掲載 (Web、DM、ポスター等)	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名	△ Web 社名掲載
8. 会社見学会の実施	○	○	—	—	—



品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に
準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が国産既製ソフトウェア製品の品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 に準拠しており、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」に沿った品質認証制度です。

これまでに 37 製品が認証を取得しています。ソフトウェア製品（パッケージ/クラウド）をお持ちの企業は、ぜひ本認証を取得し、品質をアピールしてください。



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8452(部門直通) E-mail:psq_info@csaj.jp

マイナンバー制度の利活用はこれからです！ 「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」申請製品募集中！

業務ソフトウェアとして「マイナンバー対応」を謳うなら！

CSAJ では、政策委員会/マイナンバーワーキンググループが定めた「マイナンバー評価シート」を基に、個人番号を直接扱う業務ソフトウェアが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する制度をスタートしました。

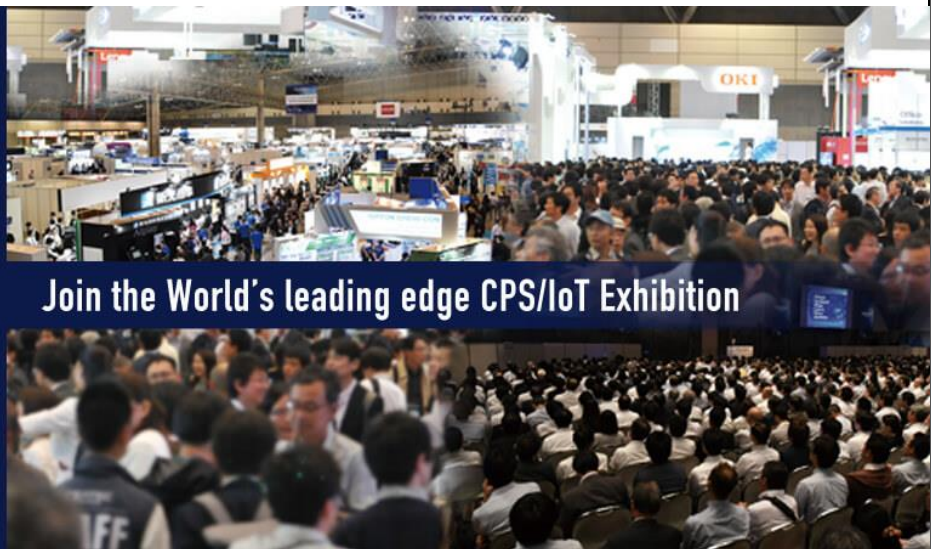
これまでに 22 製品が認証を取得、製品パッケージや Web サイト、カタログ等で積極的なアピールを展開しています。



CEATEC JAPAN 2018

つながる社会、共創する未来
10.16(火) ▶ 10.19(金)
幕張メッセ

開催概要説明会 参加申込受付中! ▶



Join the World's leading edge CPS/IoT Exhibition

これまで「最先端 IT ・エレクトロニクス総合展」として開催してきた CEATEC JAPAN は、CPS/IoT でよりつながりが深くなる社会から、新たな未来を共に創る場として生まれ変わりました。

CSAJ は、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)とともに「CEATEC JAPAN」を主催しています。

- 名称** CEATEC JAPAN 2018 (シーテック ジャパン 2018)
(Combined Exhibition of Advanced Technologies)
- 会期** 2018年10月16日(火)～19日(金) 午前10時～午後5時
- 会場** 幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬 2-1
- 入場** 全来場者登録入場制
- 主催** CETAETC JAPAN 実施協議会
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)
一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

【2017年実績】

開催テーマ: 「つながる社会、共創する未来」

来場者: 152,066名

出展者: 667社/団体

CEATEC JAPAN 2017 開催報告書ダウンロード <http://www.ceatec.com/ja/download/>

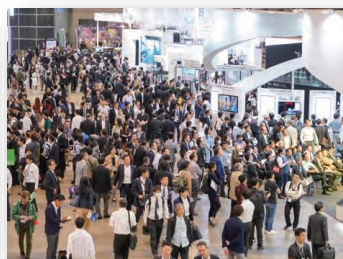


KEY-3
日英同時通訳

AIが創る未来とIoTを成長させる規制改革

一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 会長
一般社団法人 日本IT団体連盟 理事・幹事長
株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長

荻原 紀男 氏



CSAJ 会員限定 サテライト・オフィス

CSAJ サテオ

CSAJ サテオとは？

2017年2月6日に発表した「CSAJ 働き方改革宣言」の一環として、会員企業様向けにコワーキングスペースとしてご利用頂けるサテオを事務局内（4F）に用意しました。

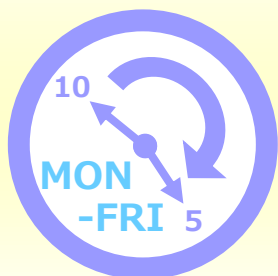
CSAJの「働き方改革宣言」を会員企業が実践するにあたって、コワーキングスペースを利用することで外出中の移動時間を有効に活用するだけでなく、同スペースで会員同士から生まれるコラボレーションにも期待しています。

協会が主催する研究会・セミナーの空き時間のメールチェックだけでなく、各省庁を訪問する際の資料確認、遠方の会員にサテライト・オフィスとしてご活用いただく等、場所に縛られない働き方が実践できるようなスペースとして多くの会員企業のご利用を想定しています。

会員の皆様のサテオご利用を心よりお待ちしております。

<利用概要>

※CSAJ 会員限定
※予告なく終了する可能性があります



詳細は会員専用 Web ページをご参照ください（閲覧にはID とパスワードが必要となります）

<http://www.csaj.jp/member/coworkingspace.html>



「全国 IT 部応援プロジェクト」 ワーキンググループメンバー募集！



元パソコン部・コンピュータ部集まれ！
～コンピュータ大好きな CSAJ メンバーが、全国のパソコン部を盛り上げるプロジェクト～

プログラミング教育委員会では、「パソコン少年・少女がこれからの IT の未来をつくる」という掛け声のもと、未来のコア IT 人材を応援する為に、全国のパソコン部を盛り上げるプロジェクトをはじめます。

これからの IT の未来においてはエンジニアが個性豊かな職人として、誰でもソフトウェアが書けるという観点ではなく、その人で無いと生み出されないソフトウェアを武器に、市場の拡大を目指していくべきだと考えています。

このような考えのもと、学生時代から IT に慣れ親しみ、「自分もソフトウェアエンジニアになりたい」と考える優秀な将来の担い手の育成を応援するため、CSAJ として経済産業省の協力を得ながら、全国のパソコン部を盛り上げたいと思っております。

かつての、パソコン少年・少女だった CSAJ 会員企業のやる気のあるメンバーに、ぜひワーキンググループへのご参加をお願いします。

参加資格	CSAJ 会員企業限定 ※好ましい条件： ・学生時代にパソコン部、コンピュータ部・情報システム部等に所属していた方 ・全国にある学校のパソコン部を盛り上げたい方 ・パソコン部等関連の部活に所属している家族・親戚がいる方 ・将来の担い手となる若者を応援したい方 など	
活動時期	2018 年 4 月頃キックオフ	
活動内容	・官公庁・関係団体と連携しながら、全国のパソコン部に対して、 機材・教材・指導者等の支援方法について検討し、全国のパソコン部へ普及させる ・プログラミング教育委員会との連携などを予定。 詳細はワーキングメンバー内にて検討のうえ決定。	
登録方法	委員会・研究会参加登録フォームよりご登録をお願いします	
詳細・登録 URL	http://www.csaj.jp/NEWS/committee/pge/itclubouenwg.html	
問い合わせ	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 事務局：若生 TEL：03-3560-8440 E-mail： gyoumu1@csaj.jp	

CSAJ 活動 Pickup

2017年7月～12月

2018年2月1日発行



〒107-0052
東京都港区赤坂1-3-6
赤坂グレースビル
TEL : 03-3560-8440
FAX : 03-3560-8441
<http://www.csaj.jp/>